

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 273 号	氏名	Natallia Akulevich
学位審査委員	主 査	丹羽正美	
	副 査	高村 昇	
	副 査	永山雄二	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、放射線による甲状腺発癌の個人リスク同定のために、代表的な DNA 損傷応答遺伝子群の遺伝子多型を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 上記目的のために、適切かつ多数の症例（放射線誘発甲状腺癌症例・放射線被ばく非癌症例・自然発症甲状腺癌症例・正常対象例）から DNA を収集し、5 つの標的遺伝子内の 9 箇所の遺伝子多型を PCR・シークエンスなどで解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、甲状腺癌発症リスクマーカー・発症リスク軽減マーカーを同定し、かつこれらの組み合わせで甲状腺発癌に関する内因性リスクをより正確に推定できることを見出した。これらの結果は被ばく者集団における今後の個人の発癌リスク同定に繋がるだけでなく、個人レベルでの放射線防護に関する重要な知見を提供するものである。</p> <p>以上のように本論文は放射線基礎生命科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			